三和ＯＢ会　東京支部
東京散歩散策　第29回

福沢諭吉と慶応義塾

平成28年7月4日
猛暑　33．8度

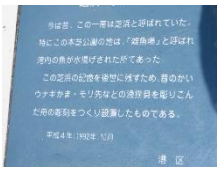
JR田町駅～西郷南洲・勝海舟会見の地～雑魚場跡～水野監物邸跡～札の辻～元和キリシタン遺跡～慶応義塾大学（三田演説館・図書館旧館・福沢諭吉終焉記念碑）～イタリア大使館～綱町三井倶楽部～美和ロツク株式会社

浅岡 郁夫　阿部 正男　飯草 逸夫　市岡 次郎　磯川 清　板倉 伸一郎　入谷 悟　北古賀 学
黒武者 光文　後条 範夫　清水 義之　小林 忠蔵　高橋 博　田熊 浩　寺島 和夫　冨田 博
西村 正義　浜田 季彦　林 和夫　平塚 喜一郎　福地 成治　藁科 晴雄　澁川 尚雄

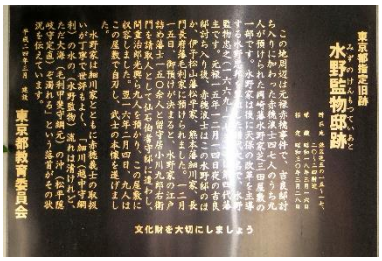
JR田町駅集合

駅校内に「西郷南洲・勝海舟会見の図」

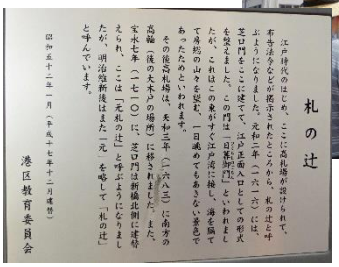
三菱自動車ビル前に「会見の地」



雑魚場跡



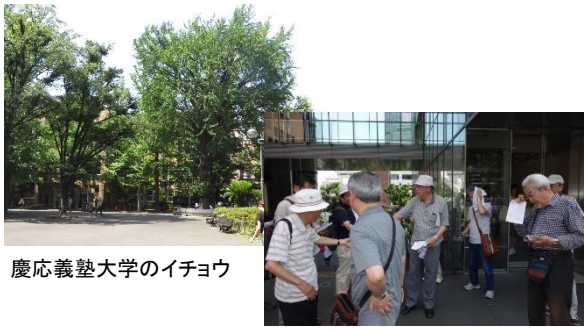
水野監物邸跡地（赤穂浪士9人自決」



札の辻交差点

札の辻（高札場、地点）

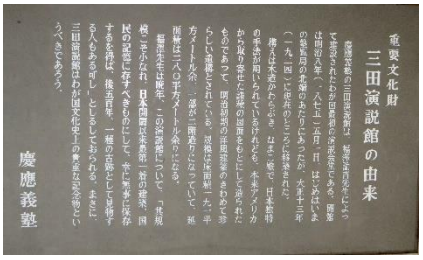
元和キリシタン遺跡



慶応義塾大学のイチョウ

集合写真（4名　西村、平塚、福地、黒武者欠）

なまこ壁の三田演説館（重要文化財）



重要文化財

三田演説館の由来

慶應義塾の三田演説館は　幕末の頃の洋風建築である。開塾は明治六年（一八七三）五月一日　はじめはいまの仏蘭西局の北隣のあたりにあったが　翌年三月（一九一四）に現在のところに移された。

幾たびか改造されたが　なまこ壁で　日本独特の瓦葺が用いられているけれども　本来アメリカから取り寄せた建築材を用いたものであって　明治初期の洋風建築のまれな一つ　珍らしい遺構とされている。現在は建坪　約一九　平方メートル余　二階建になっていて　孤塔は二〇平方メートル余りになる。

福澤先生は　この演説館について　「規模こそ小なれ　日本開国以来最新一番の建築　国民の記念に存すべきものにて　宜しく永く保存するを得ば　後百年　一種の古跡として見物する人もあるべし　とするしておられる　まさに　三田演説館はわが国文化史上の貴重な遺物というべきであろう。

慶應義塾

旧図書館

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」東館

「ペンは剣より強し」
旧図書館踊り階段
耐震工事の為見学できず

「還らざる友の碑」鳥居塾長

綱町三井倶楽部見学できず

新製品
セキュリティ万全

美和ロックショウルーム